

コーセー、福島・東北の復興を継続して応援

「fukushima さくらプロジェクト」

『福島プロジェクトマッピング 2016 はるか ～ 白河 花かがり ～』に協賛

株式会社コーセー(本社:東京都中央区、代表取締役社長:小林 一俊)は、東日本大震災の被災地への復興支援の一環として参加している「fukushima さくらプロジェクト」の取組みとして、2016年4月15日(金)・16日(土)に福島県白河市で開催される『福島プロジェクトマッピング 2016 はるか ～ 白河 花かがり ～』に協賛し、本プロジェクトを盛り上げていきます。

「fukushima さくらプロジェクト」とは、多くの企業の参加により、福島発の新種の桜を、全国各地に届けることなどを通じて、福島・東北を応援する機運を醸成する広報活動を目的とするプロジェクトです。震災被害が長期化している中、福島・東北の現状を忘れないため、新種の桜「はるか」をシンボルにして、各参加企業が様々な方法で多くの人々に伝え、行動を促すきっかけを与えていきます。

これまで福島県会津若松市の鶴ヶ城にて3年連続で3月に開催されてきた「プロジェクトマッピング はるか」を、今年は新たに「白河 花かがり」と題し、福島県白河市で4月に開催。音楽家の大友良英氏とSachiko M氏の新曲に乗せて、書道家の紫舟氏の書や、咲き乱れる桜の映像が、建設中の白河文化交流館「コミネス」に映し出されます。世界初の試みとも言われる建設現場のネットや足場など、奥行きのあるスクリーンへの投影で、左右では見え方が違う、より立体的な「はるか」が楽しめる演出となっています。



当社ではこの「fukushima さくらプロジェクト」への参加をはじめ、当社ならではの取り組みを通じて、新種の桜「はるか」の苗木を日本各地へ広げる支援を行うことで、長期にわたる福島・東北への応援を継続していきます。

※ コーセーCSR情報「fukushima さくらプロジェクト」で福島・東北を応援

URL: <http://www.kose.co.jp/company/ja/csr/special2/>

参考資料

<福島プロジェクトマッピング 2016 はるか ～ 白河 花かがり ～ 実施概要>

日時 2016年4月15日(金)、16日(土)

①18:20～ ②19:00～ ③19:40～ ④20:20～

会場 白河文化交流館「コミネス」

(JR 白河駅から徒歩3分)

入場 無料(完全予約制 ※下記のwebサイトより)

主催 fukushima さくらプロジェクト

共催 白河市

後援 福島県

協力 ふくしま DC 県南推進協議会、白河商工会議所、白河商工会議所青年部、白河商工会議所女性会、
(公財)白河観光物産協会、JR 東日本 仙台支社、日本一心プロジェクト、同志社大学

協賛 大東建託株式会社、大東建託グループ みらい基金、NTT ファイナンス株式会社、
株式会社コーセー、株式会社日本経済新聞社、福島民報社、株式会社 LIXIL、
株式会社サン・クロレラ、日本ゼトック株式会社、株式会社ネクスウェイ、菱電商事株式会社

実施内容の詳細は、ウェブサイトをご参照ください。

URL: <http://www.fukushimasakura.jp/2016/>

■「はるか」について

「はるか」は、森林総合研究所が開発し、福島県に贈られた新しい桜です。福島・東北を応援するシンボルとして、はるかかなたの未来にまで広がって欲しいという想いを込めて、NHK 大河ドラマ「八重の桜」の主演・綾瀬はるかさんが、2013年12月24日に命名しました。

■「fukushima さくらプロジェクト」における当社の取り組みについて

【鶴ヶ城プロジェクトマッピング第1回・第2回・第3回】

2013年、2014年、2015年に開催された「鶴ヶ城プロジェクトマッピング」に初年度より継続して協賛しています。初年度では、福島県会津若松市の象徴である「鶴ヶ城」の城壁に、現在は苗木である新種の桜が、10年後に大輪の花を咲かせる様子をイメージした映像が投影され、多くの人々に“未来”へ向けた強いメッセージが発信されました。

【店頭キャンペーン】

2013年8月からは、化粧品会社であることを活かして、当社の代表的なブランド『エスプリーク』『コスメデコルテ』『プレディア』の販売を通じて、福島・東北を応援しています。対象商品の売上の一部を、新種の桜の増殖費用に寄付するキャンペーンを行ってきました。また、2015年からは、新種の桜の増殖・植樹費用に寄付するキャンペーンとして実施しています。

(詳細ニュースリリース URL: <http://news.kose.co.jp/pdf/news/20150115.pdf>)

■苗木増殖・植樹について

はるかの苗木は、福島県森林研究センターに建設された苗木の養生ハウスで育成・増殖しています。植樹については、2013年4月に初めて福島県白河市に植樹され、2014年2月には、福島県から京都市同志社大学へ県外としては初めて贈呈されました。その後も福島県にゆかりのある全国の場所へ贈呈されています。



【苗木の育成の様子】

【植樹の様子】



【福島県白河市：南湖公園】



【京都市：同志社大学】

【植樹された場所(抜粋)】

■福島県内

- ・福島県会津若松市：鶴ヶ城
- ・福島県白河市：南湖公園
- ・福島県福島市：JRA 福島競馬場
- ・福島県伊達市：さくらまつり

■全国各地

- ・京都府京都市：同志社大学
- ・兵庫県豊岡市：辰鼓楼の隣
- ・京都府京都市：京都府庁

など

※植樹レポート <http://www.fukushimasakura.jp/plant/>

■当社の植樹について

当社では、新しい小さな桜の木が、未来の子供達の夢や希望と共に育つことを願い、幼稚園や保育園などを中心に苗木を贈呈、植樹しています。2015年4月16日には、化粧品のキャンペーンを通じて育成してきた、新種の桜“はるか”の苗木を、初めて会津若葉幼稚園(福島県会津若松市)に贈呈しました。植樹式では、在籍する園児達が見守る中、新種の桜“はるか”の苗木が植えられ、苗木の根元には、年長クラスの園児45名が描いた「将来の夢」を入れたタイムカプセルも埋められました。また、2016年3月11日には、千葉県浦安市立入船小学校に福島県以外で初となる2本目を贈呈しました。



【園児との植樹の様子】



【小学校での植樹の様子】

※当社からのさくら贈呈先の募集について

当社では、小さな桜の木が、未来の子ども達の夢や希望と共に育つことを願い、幼稚園や保育園、小学校などを中心に新種のさくら「はるか」の苗木を贈呈、植樹しています。

ご希望の方は、当社HPよりお申し込みください。

※ コーサーHP「fukushima さくらプロジェクト」で福島・東北を応援 「さくらの贈呈について」

URL: <http://www.kose.co.jp/company/ja/csr/special2/>